

令和5年4月3日(月)13:30~

市長訓示：江田島市職員としての使命

- 1 市長の明岳周作でございます。令和5年度の開始に当たり、私の思いをお話しさせていただきます。令和5年度の仕事がいよいよ、今日から始まりました。皆さんの前で、直接お話しさせていただく機会は、あまりありませんので、私の思いをお話しさせていただきたいと思っております。

さて、本日は、朝一番で新入採用職員の皆さんに辞令を交付させていただきました。その際、18名の職員の方々から、力強い宣誓もしていただきました。皆さんも、すべての方が宣誓書に署名をし、自分が何をすべきか、自分の役割は何かということ宣誓をし、署名をし、仕事に従事したわけでありまして。思い出していただきたいと思っております。

「初心忘るべからず」という言葉がありますけれども、江田島市役所の職員になれた喜び、市民のために、まちづくりに取り組めることに感謝することを決して忘れてはいけなないと、私は思います。

先週3月31日金曜日、退職者辞令式を行い、21人の方のお見送りをさせていただきました。

別れもあれば出会いもあります。今日はその出会いの始まりであります。桜咲く、今日の良き日に、新たな出会い、新たな仕事に携わることができることに感謝をしたいと思います。まずもって、皆様、新しい令和5年度、江田島市制19年目を迎えております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

- 2 私の、仕事への取組、思いをお話させていただきます。このことを皆さんと共有して仕事に取り組みたいと思っております。

①私たちが、江田島市職員の使命は、江田島市の使命は、何かと問われれば、市民の福祉の増進、向上にあります。福祉というのは、み易い言葉でいうと幸せのことです。私は昔から、福祉の向上とは、「市民の喜びを増やして悲しみを減ずること。」であり、それが我々公務員、職員の使命だと思っております。

②そして、江田島市職員として職務に向かう姿勢、スタンスは、我々は、決して、市民の要求目線、依存目線で仕事をするではありません。次の世代を含めた市民本位で、仕事をさせていただくということを申し上げたい。

③それは、何か施策を決定する際や事業を進める際には、何が江田島市、何が江田島市民にとって、最善かという価値判断をもって、仕事をさせていただくことだと思っております。

市長就任後、この考えを、皆さんに機会あるごとにお伝えしております。

今後とも、こうした考え方を職員の皆さんが共有できるよう、意識し、同僚や職員、また市民の皆様に対応してください。

- ④私の夢は、仕事を通じて市民の皆さんから「江田島市の宝は江田島市の職員だ」と言ってもらえること、その言葉を言ってもらえたときに、きっと江田島は今よりもいいまちになっていると確信するからであります。

要は、市民の方に仕事を通じて感動してもらうことだと思っています。「よくしてもらった。助かった。要望したけど職員からダメな理由の説明を受けてよく分かった。」等々の言葉をいただきたいと思っております。

こうした私の考え方を、職員の皆さんが共有して、取り組んでいただくことが、組織の強さ、江田島市のよりよいまちづくりに、必ずつながっていくものと考えます。

難しいことではありません。職員の皆さんが、「日々江田島市の職員として働かせてもらうことに感謝すること」、市民の方が職場に来られた時に「気持ちよく挨拶をさせてもらうこと」、「市民の方に寄り添って、業務に取り組むこと」、「笑顔と挨拶と寄り添って仕事をさせてもらうということ」であります。所属の職員の皆さんにも徹底していただきたい。仕事がきっと楽しくなると思えます。

- ⑤残念ながら、一生懸命に仕事をしていてもミスはあります。大事なことはその時の対応であると思えます。真摯に反省をし、ミスの原因、改善策を見つけ出し、職員と共有することです。

正直、予算書の作成や国保税等の課税ミスなどもあります。関係課とより連携を取っていれば防げたことや単純な確認ミスであります。

幹部会でもお願いをしておりますが、「公務員として、社会人として、当たり前のことを当たり前にやろう。」ということでもあります。挨拶、約束したら必ず守る。会議の5分前集合を徹底すること等々、常識として、こうあるべきというものはきちんとやろうということです。どうか、よろしく願いいたします。

- ⑥重ねて申し上げます。

職員の皆さんが、「日々江田島市の職員として働かせてもらうことに感謝すること」、市民の方が職場に来られた時に「気持ちよく挨拶をさせてもらうこと」、「市民の方に寄り添って、業務に取り組むこと」、「感謝と笑顔、挨拶と寄り添って仕事をさせてもらうということ」であります。

こうした、職員の皆さんの仕事を通じての取組の積み重ねが、必ずや、市民の皆様にも感動をいただけたと思えます。そして、いいまちづくりが、できると思えます。

人事異動により、部署を換わられた職員の皆様もたくさんおられるでしょう。

戸惑うこともあるかもしれませんが、チャンスでもあります。

気分一新、神様から与えられた職と思って、感謝して仕事に取り組んでください。

3 念ずれば花ひらく

私が大好きな坂村真民先生の「念ずれば花ひらく」という詩を紹介します。広報江田島平成29年1月号の挨拶の中でも触れさせていただきました。

「念ずれば花ひらく

苦しい時 母がいつも口にしていた この言葉を

私もいつの頃からか となえるようになった

そうしてそのたび 私の花が不思議と ひとつひとつ ひらいていった」

(6年前の静岡市立由比中学校の校長先生のお話の中に、この詞の解釈がありました。)

これはただ念じていれば、じっとお願いをしていけば、目標や夢が叶うという意味ではありません。何事も一生懸命に祈るように努力すれば、自ずから道は開ける、夢や目標が叶うという意味であります。

念という字を分解すると今と心になります。これは目の前にある事を一生懸命やるということです。言葉を変えていえば実践するということです。念とは今の心であり、今、目の前にあることを一生懸命にやることを表しています。さらに念じるという言葉には実践するという意味もあります。

念ずれば花ひらくという言葉の裏には、今を大切に生きないと花は咲かない、花はひらかないという意味が込められているのだと思います。今をいい加減に生きると、次の瞬間もいい加減なものになり、いい加減な生活しか送れないことになってしまうのではないのでしょうか。

それは決して、いつもどんな時も緊張して生活をするということではなくて、リラックスする時は思いっきりリラックスするということであり、今にけじめをつけて生活をするということととってもいいのかもしれない。

皆様方も、こうしたら、もっと江田島市は良くなる、あるいは、ここはおかしいのではと、疑問を持たれましたら、遠慮なく、私に言っていただければ幸いです。

新しい年度を迎えた江田島市におきまして、皆さんの力が大きな役割を果たすものであります。江田島市のまちづくりは、私たち職員しか担えないという、使命と現実を強く認識し、取り組んでいただきたいと思います。

結びになります。住む人も、訪れる人もワクワクできる島江田島を目指して、私も皆さんの先頭に立って、頑張っていきたいと思います。

共に江田島市役所で、まちづくりの仕事に取り組むことができることへの感謝と熱い思いを持って、頑張っていきましょう。よろしく申し上げます。以上です。